



ケンブリッジ英語検定

Cambridge

Cambridge English Qualifications English Qualifications

ケンブリッジ英語検定は、Cambridge が開発・提供している世界標準の英語能力認定試験です。CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）と共に開発され、歴史的に CEFR にマッピングされている唯一の英語 4 技能試験です。学校（幼小中高）、一般、高等教育、ビジネスを対象としたこの資格試験は、7 レベル・11 種類から成ります。

効果的な教授法と学習法の研究に基づき開発されたケンブリッジ英語検定は、年齢や能力を問わず、英語を学ぶ意欲を高め、実社会で役立つ実践的なスキルを身につけることを目的としています。各試験は、CEFR のレベルに対応し、学習者がスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングのスキルを段階的に向上できるようサポートします。

ケンブリッジ英語検定は、目標がどのようなものであっても、世界中の何千もの機関によって認められ、信頼されている資格です。



Pre A1 Starters

A1 Movers

A2 Flyers

A2 Key/Key for Schools

B1 Preliminary/Preliminary for Schools

B2 First/First for Schools

C1 Advanced

C2 Proficiency

詳しくはこちら



A2 Key for Schools サンプル

サンプル問題



スピーキングテスト
サンプル動画



「for Schools」は、中高生の経験および関心に適した内容の中高生向けバージョンです。

リンガスキル Linguaskill

Linguaskill

リンガスキルは、AI 採点など、ケンブリッジ大学グループの最新テクノロジーを活用したオンライン型の英語 4 技能試験です。一般向けとビジネス向けの 2 種類があり、モジュール（技能）別の受験も可能です。試験結果は CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）と Cambridge English スケールスコアで表示され、IELTS やケンブリッジ英語検定とスコアが比較できます。遠隔試験監督システム導入で自宅でも受験いただけます。

詳しくはこちら



ケンブリッジ英語検定

Cambridge English Qualifications

ケンブリッジ英語検定は、さまざまな学校で導入いただいております。学校での取り組みは、当社発行の Cambridge Japan Booklet に掲載しています。

ケンブリッジ英語検定を導入されている学校の先生方や受験者の声は、メディアサイトでも取り上げられています。

Cambridge Japan Booklet

2022 Japan Booklet



2023 Japan Booklet



2023 Japan Booklet



【Japan Booklet 掲載 ケンブリッジ英語検定導入校】

近畿大学附属高等学校、工学院大学附属中学校・高等学校、佐野日本大学中等教育学校、立川国際中等教育学校、中村学園女子中学校・高等学校（五十音順）

東洋大学京北中学高等学校 今橋 伸悟 先生



同校では英語教育を「国際教育」の一環として位置づけ、実践的な英語力の育成をめざしている。ケンブリッジ英語検定が英語運用能力の国際評価指標である CEFR に完全準拠していることも、導入を後押しした。

加えて、今橋先生はかねてより「生徒には、どんな問題にも対応できる、本当の『英語力』を身につけさせることが重要」と考えてきたという。「試験前に過去問を見たり単語を覚えたりなどの対策をすれば得点できてしまうような問題ではなく、生徒の実際の英語力を測れる問題が出題される点も、ケンブリッジ英語検定を選んだ理由のひとつ」だと話す。¹⁾

出典
1) 河合塾 河合塾グループ、「教員・受験者の声 | ケンブリッジ英語検定 | 河合塾ケンブリッジ英語検定事務局」・河合塾、2020。https://www.kawai-juku.ac.jp/cambridge-english/voice/teacher-02/ (参照 2023-06-16)

受験者の声



イギリス英語や、二人一組のスピーキングテストはほかのテストにはない面白さです。²⁾

英語 4 技能をさまざまな角度から測る試験。共通テストとも関連する問題が出題されました。³⁾

日頃の英語の勉強や英語を使う活動の成果が測れ、生涯使える英語力向上につながる試験です。⁴⁾

出典
2)3)4) 河合塾 河合塾グループ、「教員・受験者の声 | ケンブリッジ英語検定 | 河合塾ケンブリッジ英語検定事務局」・河合塾、2020。https://www.kawai-juku.ac.jp/cambridge-english/voice/ (参照 2023-06-16)

インタビュー全文および先生方・受験者の声は、河合塾様のウェブサイトでご覧いただけます。



ケンブリッジ英語検定試験センター

ケンブリッジ英語検定を受験できる試験センターはすべて Cambridge の審査を受けており、高い基準を満たしています。取り扱う試験は各センターによって異なります。詳細は当社ウェブサイトからご確認ください。

詳しくはこちら



北海道

Hokkaido Exam Centre (info@smileniseko.com)

東京

Justy Co Ltd (JP040@justycom.jp)

KAWAIJUKU Examination Centre (cambridge-jp026@kawai-juku.ac.jp)

岡山

West Japan Cambridge Centre (info@cambridgecentre.jp)

リンガスキル Linguaskill

日本航空 (JAL) が
リンガスキルを活用



日本航空 パイロット採用担当者のコメント

パイロットに求められる英語スピーキング能力を培う上で、必要な基礎力を備えているかどうかを確認できるテストに関心があり、国際民間航空機関 (ICAO) が定める英語能力基準の目安の一つと言われる CEFR 基準で評価されるケンブリッジ英語検定についてお話を伺いました。お話の中で、リンガスキルはスピーキング能力に必要な基礎力の評価に特化しており、かつ試験結果が非常に迅速に提供されることを知り、リンガスキルの活用がパイロット採用における必要な判断材料の一つとなるのではと考えました。その後トライアルや検討を進め、安定した運用と評価に満足のいく結果を得られたことから、2020 年卒入社自社養成パイロットの採用時より英語スピーキングテストに活用させていただいております。

詳しくはこちら

